



高円寺 図書館

2019年1月号



杉並区立高円寺図書館

〒166-0003

杉並区高円寺南 2-36-25

TEL03-3316-2421

新しく入った本

平成にまつわる

美智子さまの60年



288 ㊦

別冊 宝島編集部/著
宝島社

昭和から平成。ご成婚から現在まで、皇后美智子さまが天皇陛下とともに歩まれた60年間の装いを写真で振り返ります。

公式行事でのドレスや着物姿はもちろんのこと、リラックスされたひととき、ご愛用の小物など・・・関連エピソードなども紹介された美智子さまの魅力にあふれた本です。



ツ121

二月村了衛/著
小学館

昭和末期から平成までの日本の裏面史が、一人の公安警察官の人生と共に描かれた
公安警察ミステリ 大河小説！
それぞれの事件関係者は実名で書かれているせいか、どこまでが事実で、どこからが物語なのか・・・ノンフィクションのようなフィクションで読書の醍醐味を楽しんでください。



217.6 へ

池上彰/著
NHK出版

「平成」の三十年間が終わりを告げようとしています。「私たちは今どんな時代に生きていて、これからどんな時代を生き抜こうとしているのか」

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院の教授4人が「宗教と社会」をキーワードに激動の平成時代を総括します。

10代に語る平成史



YAコーナー
後藤謙次/著
岩波書店

「岩波ジュニア新書」の存在をご存知でしょうか？中高生向けではあるけれど一般の本よりも質を落とすことなく難解な言い回しを使わない。その内容の濃さと読みやすさは大人の学びなおしにピッタリ！

この本は30年間に起きた出来事をテーマごとにわかりやすく解説されており、平成史の入門書です。

『物語の中の高円寺』

ストーリーテラーとしての才能と緻密な取材から生み出された有吉佐和子さんの数々の名作は、没後34年の時を経ていまだに多くの人を魅了してやみません。

長く杉並に居を構えていた事から、杉並を舞台にした作品もいくつか残しています。その中でも「恍惚の人」は認知症をいち早く扱った小説として注目され、その関心度の高さから当時の流行語にもなったほどでした。

舞台は杉並区の中でも
ここ高円寺近辺。
冒頭の描写からが
この地を知る人達に
っては

有吉佐和子
新潮文庫



その情景が頭の中に浮かび物語の世界に入り込んでしまいそうです。他にもいくつか具体的な地名、施設名が登場し、物語なのだけど身近な出来事として感じられるような不思議な感覚が楽しめるかもしれません。

高円寺図書館のお隣の光塩女子学院に在学していた事もあります。

また住んでいた場所の近くにある妙法寺は
辺りをよく散歩をして
いたとのことで境内には

「有吉佐和子の碑」
があります。

こちらの方も合わせて

有吉佐和子を迎える高円寺散歩を楽しまれては
いかがですか？



1月

日	月	火	水	木	金	土
		1 休館日	2 休館日	3 休館日	4 休館日	5
6	7 休館日	8	9 赤ちゃん タイム お話し会	10	11	12
13	14	15	16 お話し会	17 休館日	18	19
20	21	22	23	24	25	26
	蔵書点検	蔵書点検	蔵書点検	蔵書点検		
27	28	29	30 お話し会	31		

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4 休館日	5	6 お話し会	7	8	9
10	11	12	13 赤ちゃん タイム お話し会	14	15	16
17	18	19	20 お話し会	21 休館日	22	23
24	25	26	27 お話し会	28		

※1月21日(月)～24日(木)

特別整理(蔵書点検)のため臨時休館いたします。
ご迷惑をおかけしますがどうぞよろしくお願い致します

《開館・貸出時間》

月～土
午前9時～午後8時

日・祝
午前9時～午後5時

